

認識票に関する訓令（令和4年防衛省訓令第69号）第7条の規定に基づき、認識票に関する達を次のように定める。

令和4年9月29日

陸上幕僚長 陸将 吉田 圭秀

認識票に関する達

（目的）

第1条 この達は、陸上自衛隊における認識票の取扱いに関し必要な事項を定めることを目的とする。

（制式及び記載要領、記載事項）

第2条 認識票への記載は刻印により行う。

2 個人交付用及び部隊交付用の認識票の制式及び記載要領等は別紙第1図1及び図2のとおりとする。

（交付）

第3条 認識票は、常備自衛官及び即応予備自衛官等（即応予備自衛官及び予備自衛官をいう。）並びに体験搭乗等を実施する航空科部隊に交付する。

2 部隊交付の対象となる航空科部隊については、別紙第2の部隊とし、自衛官以外の者が陸上自衛隊の航空機に搭乗する場合、認識票を交付し着用させることができるものとする。

（着用）

第4条 認識票は、2枚1組で使用する。（別紙第1図3）

（補給管理）

第5条 認識票の補給管理に関する事項は、陸上自衛隊補給管理規則（陸上自衛隊達第71—5号（19.1.9）。以下「規則」という。）により行い、物品の区分については次のとおりとする。

(1) 物品管理区分

需品器材の雑品のその他（Q09）（規則第15条）

(2) 需給統制区分

補給統制本部統制品目（規則第16条）の定めるところによる。

2 認識票の補給・請求・回収系統については下記に示すとおりとする。

補給統制本部	補給処	駐屯地業務隊等	使用部隊等	摘要
○ ←	○ ←	○ ←	○	請求系統
○ →	○ →	○ →	○	補給系統
		○ ←	○	回収系統

- 3 刻印は、補給処が担当する。
- 4 使用部隊等においては、人事係が業務を担当する。

(請求要領等)

第6条 未交付である自衛官については、別紙第3に示す認識票交付者名簿に部隊名、階級、氏名（ふりがなをひらがなで、ローマ字名をへボン式（へボン式の綴り方は、別紙第4による。）で併記）、認識番号及び血液型（ABO式、Rh式）を記載して請求する。

- 2 認識票は、認識票交付者名簿(別紙第3)に記載した上で交付する。認識票交付者名簿は、中隊等单位で作成、保管する。
- 3 自衛官が氏名を改めたとき、亡失、又は棄損したとき等の再交付の請求は、その都度実施する。ただし、亡失による場合は、別紙第5に示す亡失報告書を駐屯地業務隊等の長に提出する。
- 4 分任物品管理官たる部隊等の長は、転出する自衛官で交付を受けている自衛官については、別紙第6に示す認識票携行証明を作成し、人事記録と一緒に携行させるとともに、別紙第3の認識票交付者名簿に記載する。なお、交付を受けていない自衛官については、定期異動後、1ヶ月以内に同条第1項の手続を行うものとする。

(回収)

第7条 供用することができない、又は供用する必要のない認識票は使用部隊等で不用決定し、原形を崩す、又は切断した後、駐屯地業務隊等へ後送する。

- 2 常備自衛官から即応予備自衛官に採用された者の認識票は、回収しない。

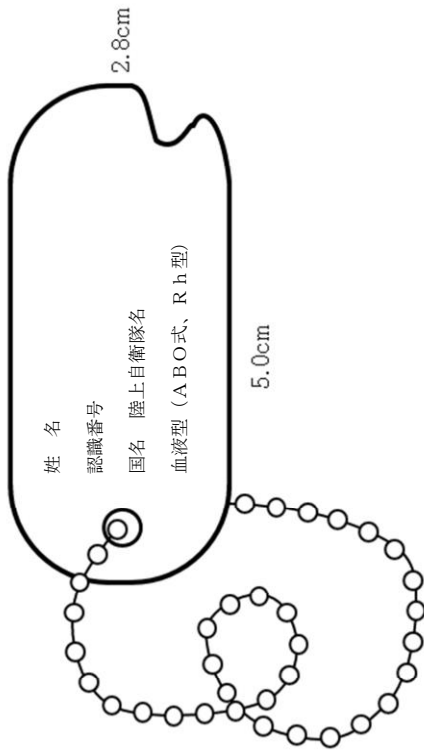
附 則

- 1 この達は、令和4年10月1日から施行する。
- 2 この訓令の施行前に交付された認識票は、令和8年3月31日まで使用することができるものとし、混用期間における運用等については別に定めるものとする。

制式及び記載要領等

図1

個人交付用記載事項



(刻印例)

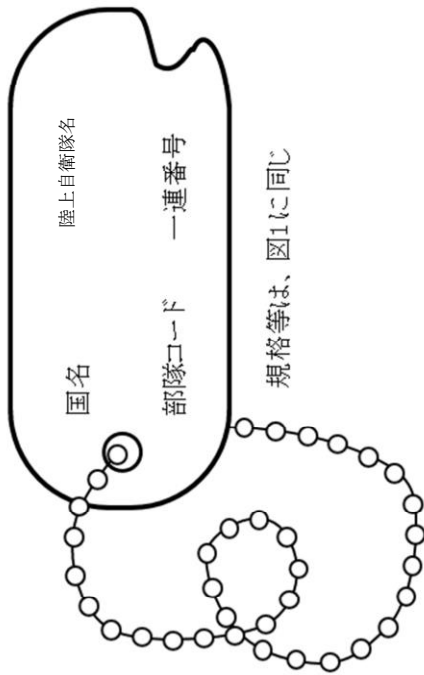
NINSHIKI Taro
G1234567
JAPAN GSDF
BLOOD TYPE A (-)

名の一番初めの文字は大文字、
その後は小文字で記載する。

Rh 血液型の陽性/陰性を
(+) (-) で記載する。

図2

部隊交付用記載事項

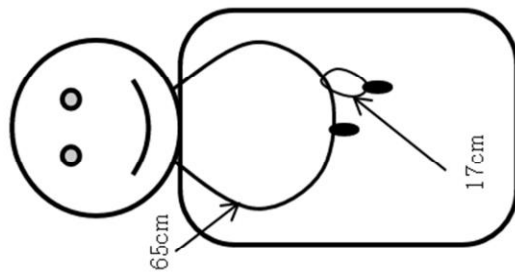


(刻印例)

JAPAN GSDF
657 0000123

注：部隊コードは、別紙第2のコードを使用する。

図3



部隊交付の対象部隊等

部隊名	コード	一連番号
第1ヘリコプター団	555	000001～000150
航空学校	657	000001～000150
北部方面航空隊	001	000001～000200
東北方面航空隊	101	000001～000150
東部方面航空隊	201	000001～000100
中部方面航空隊	301	000001～000100
西部方面航空隊	401	000001～000150
第1飛行隊	211	000001～000100
第2飛行隊	011	000001～000100
第3飛行隊	311	000001～000100
第4飛行隊	411	000001～000100
第5飛行隊	012	000001～000100
第6飛行隊	111	000001～000100
第7飛行隊	013	000001～000100
第8飛行隊	412	000001～000100
第9飛行隊	112	000001～000100
第10飛行隊	312	000001～000100
第11飛行隊	014	000001～000100
第13飛行隊	313	000001～000100
第14飛行隊	314	000001～000100
第12ヘリコプター隊	212	000001～000100
第15ヘリコプター隊	461	000001～000100

別紙第3 (第6条関係)

認識票交付者名簿

(記載例)

〇〇中隊

連番	部隊名	階級	氏名	認識番号	血液型	受け渡し		備考
						交付	返納	
1	〇〇中隊	3佐	ひので 日出 夫 (HINODE Norio)	G1234567	A (+)	2.4.1 印		中隊長
2	#	1尉	にんしき 認識 次 郎 (NINSHIKI Jiro)	G0123456	B (-)	3.4.1 印		副隊長 3.8.1に〇△普連に転出
3								
4								
5								
6								
7								

注： 1 中隊等单位で作成、保管する。

寸法：日本産業規格A4

2 Rh型は、ABO式の表記の後に「(+)」 「(-)」と記入する。

へボン式ローマ字のつづり方表

あ	A	か	KA	さ	SA	た	TA	な	NA	は	HA	ま	MA	や	YA	ら	RA	わ	WA	が	GA	ざ	ZA	だ	DA	ば	BA	ぱ	PA
い	I	き	KI	し	SHI	ち	CHI	に	NI	ひ	HI	み	MI			り	RI			ぎ	GI	じ	JI	ち	JI	び	BI	び	PI
う	U	く	KU	す	SU	つ	TSU	ぬ	NU	ふ	FU	む	MU	ゆ	YU	る	RU	を	O	ぐ	GU	ず	ZU	づ	ZU	ぶ	BU	ぶ	PU
え	E	け	KE	せ	SE	て	TE	ね	NE	へ	HE	め	ME			れ	RE			げ	GE	ぜ	ZE	で	DE	べ	BE	べ	PE
お	O	こ	KO	そ	SO	と	TO	の	NO	ほ	HO	も	MO	よ	YO	ろ	RO	ん	N	こ	GO	ぞ	ZO	ど	DO	ぼ	BO	ぼ	PO
きゃ	KYA	しゃ	SHA	ちゃ	CHA	にゃ	NYA	ひゃ	HYA	みゃ	MYA	りゃ	RYA			ぎゃ	GYA	じゃ	JA	びゃ	BYA	ぴゃ	PYA						
きゅ	KYU	しゅ	SHU	ちゅ	CHU	にゅ	NYU	ひゅ	HYU	みゅ	MYU	りゅ	RYU			ぎゅ	GYU	じゅ	JU	びゅ	BYU	ぴゅ	PYU						
きょ	KYO	しょ	SHO	ちょ	CHO	にょ	NYO	ひょ	HYO	みょ	MYO	りょ	RYO			ぎょ	GYO	じょ	JO	びょ	BYO	ぴょ	PYO						

注：1 へボン式では以下の用法は使用しない。

し → SI ち → TI つ → TU ふ → HU じ → ZI ぢ → ZI
 しや → SYA しゅ → SYU しよ → SYO ちや → TYA ちゅ → TYU ちよ → TYO
 じゃ → ZYA じゅ → ZYU じよ → ZYO じゃえ → JE

2 撥音 (はっおん) B、M、Pの前にはNの代わりMをおく。
 (例) 難波 (なんば) → NAMBA 本間 (ほんま) → HOMMA 三瓶 (さんべい) → SAMPEI

3 促音 子音を重ねて示す。
 (例) 服部 (はつとり) → HATTORI 吉川 (きっかわ) → KIKKAWA
 ただし、ち (CHI)、ちや (CHA)、ちゅ (CHU)、ちよ (CHO) 音に限り、その前にTを加える。
 (例) 発地 (はつち) → HOTCHI 八丁 (はつちよう) → HATCHO

4 長音は表記しない。
 ITO (O) ITOH (X) ITŌ (X) ITŌ (X)

亡失報告書

令和 年 月 日

殿

所属
階級
氏名

私は、下記のとおり認識票を亡失したので報告します。

記

- 1 亡失の日時
- 2 亡失の場所
- 3 亡失の状況
- 4 部隊コード及び一連番号（必要がある場合記入）

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

部隊名

分任物品管理官

官職

氏

名

別紙第6 (第6条関係)

認識票携行証明					
認識番号	(ふりがな) にんしき たろう 認 識 太 郎 (ローマ字) NINSHIKI Taro			血液型	
G1234567				B (+)	
現階級				職 種	
2 尉				普通科	
部 隊 歴 及 び 証 明 欄					
年月日	駐屯地	所属部隊等	転入時	転出時	
			管理官		本人
H30. 8. 1	練馬	第○普通科連隊 第○中隊		印	印
R2. 3. 22					
R2. 3. 23	高田	第○普通科連隊 第○中隊	印		

寸法：日本産業規格 A 4

- 注：1 転出者ごとに作成、携行させ転入部隊で保管する。
 2 Rh型は、ABO式の表記の後に「 (+) 」 「 (-) 」 と記入する。